

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日更新

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 辻 健一
体系	施策	24	歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名 菅 真一郎
	基本事業	80	歴史と伝統文化に触れる機会の提供		所属班	生涯学習班	(内線) 1515
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : ①
	一般	10	5	7	10923		コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成7年度、合志歴史資料館及び西合志郷土資料館完成。それに伴い事業開始。歴史資料館長を1人配置し歴史資料等の収集・保管・管理及び展示を行なっている。文化財保護の啓発および市民の郷土史学習の支援として、ふるさと探訪まちめぐりバスを複数回実施。年に1回合志歴史資料館にて特別展を開催。子ども歴史科学体験教室については、子どもたちの体験活動支援事業として平成16年度開始。郷土の文化財を周知し、市民に学習の場を提供することを目的として設立。現在残されている貴重な史料は、経年による劣化や破損、散逸の危険性が増えていく。それに伴い、保護して後世に残すべき史料は少しずつ増加すると思われる。また、子ども歴史科学体験教室については、一定の参加者がある。平成26年度より10836合志市郷土・歴史資料館維持管理事業を統合。
【業務の流れ】	収蔵資料の収集、研究、資料作成、展示物および収蔵資料の保管・公開、資料の寄贈・寄託受入れ、市史編纂資料の収集・作成、郷土史学習講座講師、体験教室・企画展の開催。
【主な予算費目】	報酬、報償費、需用費(消耗品費、光熱水費、委託料、備品購入費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	活動の周知や内容の充実を図り利用促進を望む意見が出ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
◎ふるさと探訪まちめぐりバスを4回実施した。 ◎特別展は、『合志市への寄贈品・寄託品展～歴史書・書画等から民具まで～』を実施した。 ◎郷土資料の収集・展示・収集 ◎子ども歴史・科学体験教室を11回実施した。 ◎文化財マップを増刷した。	◎ふるさと探訪まちめぐりバス ◎特別展 ◎郷土資料の収集・展示・収集 ◎子ども歴史・科学体験教室 ◎郷土・歴史資料館資料の適正な管理、資料収集等を行う
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 展示資料数 イ: 講座開催回数	文化財マップを増刷したことによる印刷製本費の減 パネルスタンドのベース購入による備品の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 人口 人 イ: 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土史を学ぶことができる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 来館者数 人 イ: 回
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 より多くの市民に郷土の歴史について知ってもらうため。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
① 活動指標	ア 点		300	300	300	300	300	300	300	300	
	イ 回		11	10	10	11	10	10	10	10	
② 対象指標	ア 人		57,501	58,000	59,000	59,067	59,200	60,100	60,900	61,500	
	イ 回										
③ 成果指標	ア 人		8,454	7,456	9,700	7,786	9,700	9,700	9,700	9,700	
	イ 回										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		39	12	306	20			
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,941	1,903	3,090	2,621	2,876	1,952	1,952	1,952	
		(A) 事業費計	千円	1,941	1,942	3,102	2,927	2,896	1,952	1,952	1,952
		(A)のうち指定経費	千円	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	0	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	3	2	3	2	2	2	2
延べ業務時間	時間	280	950	600	765	600	600	0	0		
	(B) 人件費計	千円	1,139	3,784	2,390	3,047	2,390	2,390	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,080	5,726	5,492	5,974	5,286	4,342	1,952	1,952	

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 入館者数が、予定数を下回ったため。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 集客を見込めるような特別展などを企画していく。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 より多くの市民の文化財に対する認識を深めるため、周知を徹底することで来館者を増加させることが必要である。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 当面は現状維持であるが、今後財政難が続くようであれば両資料館との統廃合や分業により、それぞれ目的を分けて有効活用する。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在、必要最小限の経費で運営しているため、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在、必要最小限の人件費で運営しているため、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 資料館は無料で誰もが来館し、歴史や文化を学ぶことができる教育施設であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市の文化・歴史に関わる資(史)料を収集・保管・管理することは市の努めである。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

講座によっては、参加者の人数にばらつきがあるため、より多くの市民に歴史に親しんでもらうために、内容の見直し等も常に考えていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 【課題】両資料館とも開館して20年目となり、修繕不可能な映像機器等が発生しているが、修繕や展示替えを行なう予算がない。担当である両館の歴史専門職員も、他の生涯学習課の業務を兼務しているため、十分に資料館の業務に専念することができない。 【解決策】各業務の効率化をはかり、資料館業務の質を高め、魅力的な特別展や講座など、実施できるところから進めていく。																					